

『政権選択肢確立』＝『疑似首相公選制』

KANプロジェクト特別委員会委員長 小俣一郎

「現在の自民党政権に対抗する、『二つ目の政権選択肢を確立し、衆議院選挙を国民が首相を選択することができる選挙にする』『政権交代のある民主主義を実現する』ことが、〔KANプロジェクト〕の目的である」と、この会報の中でご説明してきましたが、10月号において井上さんより「KANプロジェクトは民主党支持と思われるので個人としてやってほしい」とのご意見がありましたので、改めて私の考え等を述べさせていただきます。

☆☆☆

まず事実関係からご説明しますが、〔KANプロジェクト〕は、民主党とは関係のない組織です。もともと、〔「オリーブの木」戦略研究会〕がその母体で、イタリアでの「知恵」を日本でも活用しようと始められたものです。

また、この運動に対して民主党が協力的かという、そうでもなく、まさしく、勝手連的に活動している団体なのです。

次に、なぜ〔KANプロジェクト〕（正式名称・菅直人を私たちの首相候補に指名しよう運動）という名称であるかと言えば、これが民主党を応援しよ

うという運動ではなく、政党の枠を超えて、菅直人という一人の政治家を担いだそうという運動だからです。政党という形態を拒否している多くの有権者を巻き込んでこそ、二つ目の政権選択肢が確立するという認識がそこにはあります。

では、なぜ菅さんかといえば、それは、菅さんが世論調査の「首相にしたい人NO1」だからです。もし大前さんが「首相にしたい人NO1」であれば〔OHMAEプロジェクト〕であったかもしれません。ですが、今は菅さんを旗印にすることが新しい風を呼ぶ方法だと考えます。

確かに、〔KAN〕という冠があるために、民主党支持団体と勘違いされやすいのも事実です。しかし、だから当会は支援しないほうがよい、というのはいかがなものでしょうか。我々のような市民団体が支援するからこそ、民主党色が薄められ、運動が広がっていくのではないのでしょうか。

私たちは、政治の流れを変えようと「平成維新」の旗の下に集まったわけです。このようなシステムづくりに参画することこそ本来の姿であると思えます。

☆☆☆ アメリカ大統領選挙は選挙人を選ぶ…似てる ☆☆☆

衆院選をあたかも「首相公選制度」のようにしてしまう。KANプロジェクトが成功するためには、大胆な「発想の転換」が国民に広く共有されることが必要であると私は考えます。それは「衆議院議員＝首相選挙人」と見なしてしまう発想です。

アメリカは大統領を直接選ぶと言いますが、国民が選んでいるのは大統領選挙人であり、彼らの数で大統領が決めるわけです。選挙人は州単位で選ばれ、州によって数も異なり、しかも、最も得票した候補がその州の選挙人を独占するという形態で行われています。ですから、総得票数が少ない候補が大統領になるということもあるわけです。

さて我が国ですが、衆院選は衆議院議員を選ぶ選挙であります。しかし、その衆議院議員が首相を選ぶわけですから、見方を変えれば、「衆議院議員＝首相選挙人」という図式も成り立つわけです。つまり、「首相選挙において、私は〇〇さんに投票します」と全ての候補者が宣言（公約）するのであれば、アメリカと同様の構図になるわけです。

但し日本では、中選挙区で同じ党の候補が争い、かつ、地元の利益代表という面もあったため、個人としての議員を選ぶという色彩が強く存在します。しかも自民党の長期政権により、「自民党総裁選挙＝首相選挙」という図式も存在してきました。ですから、「おらが先生を選ぶ」という感覚はあっても

衆院選を通して、「首相を選ぶ」という認識は希薄であったと思えます。

しかし、二者択一的要素を持つ「小選挙区制」の導入により、状況は大きく変わりました。明確な政権選択肢があり、且つ、300選挙区すべてに両陣営が候補者を立てるのであれば、例えば「あなたは菅さんの選挙人に入れるのか。それとも、小淵さんの選挙人に入れるのか」という形で、「疑似首相公選制」が実現するのです。

では、「衆議院議員は単なる首相選挙人なのか」と議員さんから非難の声を浴びそうですが、私は、大統領を支えるためホワイトハウスに入っていく、「政策スタッフ」と考えたかどうかと思っています。首相と共に官僚と戦うためのスタッフです。プラス「政権の監視役」でいかがでしょうか。

☆☆☆

細川政権以後、選挙後に、余りにも多くの議員がその所属を変え、また、離合集散を繰り返しました。選挙で示した国民の意思は、まさしく、議員の思惑によって振り回されてきたと言えましょう。政治不信の一因がここにあると思えます。

国民が「自らの意思で首相を選択するんだ」という認識を持ち、しかも、「菅」か「小淵」かという選択肢が鮮明になっていたならば、次の総選挙で、日本の政治は変わるのではないのでしょうか。